

# 生活科学学習指導案

令和元年〇月〇日(〇)第〇校時  
2年〇組 指導者 〇〇 〇〇

## 1 単元(題材)名 うごく うごく わたしの おもちゃ

### 2 考察

#### (1)教材観

##### ①学習内容：学習指導要領上の位置付け

生活科 学習内容(6)

身近な自然を利用したり、身近にあるものを使ったりなどして、遊びや遊ばしに使う物を工夫してつくり、その面白さや自然の不思議さに気づき、みんなで遊びを楽しむことができるようにする。

##### ②主な伸ばしたい資質・能力

- ・身近な材料を使って、工夫して動くおもちゃをつくることに興味をもち、遊び方を工夫して、みんなで楽しく遊ぼうとする態度。
- ・つくったおもちゃで友達と競い合ったり、力を合わせたりして、友達のおもちゃのよさや自分との違いを考え、表現する力。
- ・工夫して動くおもちゃをつくり、みんなで楽しく遊べるように、遊びの約束やルールを考え、それをすなおに表現する力。
- ・おもちゃや遊び方を工夫する面白さや、おもちゃの動き方などの、自然現象の不思議さや、工夫してみんなで遊ぶことの楽しさへの気づき。

##### ③そのために必要な指導・学習活動

- ・身近にある物の中から、動きのあるおもちゃをつくるための材料を探す。
- ・つくったおもちゃをよりよくするための工夫を繰り返し考える。
- ・つくったおもちゃで友達と一緒に遊び、さらによくするための工夫を考える。

##### ④今後の学習の活用

第3学年理科の学習「風やゴムのはたらき」、「じしゃく」。また、総合的な学習の時間の学習につながる。

#### (2)児童の実態及び指導方針(〇名)

##### ①既習の学習内容

これまで児童は、第1学年生活科「楽しい秋いっぱい」の学習で、公園で採った木の葉や葉っぱを使ったおもちゃづくりをしてきた。また、図画工作では、はさみの使い方を学んだり、両面テープやビニールテープ、乾電池などを使ったおもちゃづくりをしてきた。児童は、身近な物を材料とした工作の仕方の基本を学び、意欲を高めてきた。

##### ②本単元に関わる児童の実態

休み時間は、ボールやフリスビーなどを使って体を動かす遊びや、けん玉、お手玉などの昔遊びに関心が高い。すでにあるものを使った遊びをすることが多く、工作や遊ぶ物をつくる経験が少ない。

また、友達と遊ぶ際には、ルールや勝ち負けにこだわり、みんなが楽しく遊ぶための工夫や改善について話し合おうとする意識が低い児童がいる。そこで、遊ぶ物を創り出したり、友達とつくった物で遊んだりすることで、みんなで楽しむ経験をさせたいと考えた。

##### ③指導方針

- ・児童が、おもちゃづくりに意欲をもって取り組めるよう、目につくところに教師がつくったおもちゃを置いて自由に遊べるようにしておいたり、既習の昔遊びや木の葉のおもちゃについて話題にしたりする。
- ・であう場面では、おもちゃづくりへの興味・関心、気づきをもてるよう、同じおもちゃをいくつか用意し、切れ込みの入れ方や、ゴムの本数、大きさなど、少しの違いで動きが変わるようにして遊ぶ場面を設ける。
- ・はたらきかける場面では、児童が「もっと高くとぶようにしたい。」「長い距離を走るようにしたい。」などの思いをもっておもちゃづくりに取り組めるように、同じおもちゃをつくった友達と一緒に遊ぶ活動を設ける。
- ・はたらきかける場面では、児童が考えた工夫をもとにおもちゃを試行錯誤してつくるができるように、様々な材料を用意する。
- ・はたらきかける場面では、児童の気づきを蓄積できるように、活動を通して気付いた、おもちゃをよりよくするための工夫についてカードに書かせる。
- ・はたらきかける場面では、1年生におもちゃ遊びを楽しんでもらいたいという思いをもって活動できるように、昨年のフェスティバルを想起させ、場の工夫を考えさせる。
- ・ふりかえる場面では、工夫してうまくいったことやよかったこと、1年生の様子、昨年の自分との比較などを振り返らせ、学習を通して自分が成長したことに気づき、生

活に生かすことができるようにする。

### 3 校内研修とのかかわり 《割愛》

#### 4 単元（題材）の目標

身近にあるものを使って、動くおもちゃを試行錯誤してつくり、友達と競争したり、工夫を教え合ったりしながら、よりよく動くように改良することを通して、動くおもちゃの面白さや不思議さを実感するとともに、遊び方を工夫して、みんなで遊びを楽しむことができるようにする。

#### 5 評価規準

生活への関心・意欲・態度	活動や体験についての思考・表現	環境や自分についての気付き
身近な材料を使って、工夫して動くおもちゃをつくることに関心を持ち、遊び方を工夫して、みんなで楽しく遊ぼうとしている。	自分がつくるおもちゃを決め、工夫して動くおもちゃをつくるとともに、みんなで楽しく遊べるように、遊びの約束やルールを考え、表現している。	おもちゃや遊び方を工夫する面白さやおもちゃの動き方など、自然現象の不思議さに気付いている。

#### 6 指導計画（全12時間予定）

過程 時	○ねらい ・学習活動	指導上の留意点	評価の観点		
			関	思	気
であう	1 ○手づくりおもちゃであそぼう。 ・教師のつくった見本のおもちゃで遊ぶ。	・見本のおもちゃは、ゴムや空気、おもり、磁石など、多様な動力源で動くおもちゃを用意しておく。	○		
	【単元の課題】 1年生を招待して、自分たちでつくったおもちゃを使っておもちゃフェスティバルを開こう。				
2 3	○うごくおもちゃをつくろう。 ・昨年のことを想起し、自分たちでつくったおもちゃを使ってどんなことができるかを伝え合い、課題をつかむ。 ・見本のおもちゃや教科書を参考にし、おもちゃに必要な材料や道具を考えて用意し、試行錯誤しながら、自分のおもちゃをつくり、動かして遊ぶ。	・日頃から、製作のために、身の回りの材料を収集、整理、保管し、学習環境を整えておく。 ・用具の使い方や、後片付けの指導をきちんと行い、安全管理を徹底する。		○	
4	○つくったおもちゃをしょうかいしよう。 ・自分がつくったおもちゃで遊んだり、友達と競争したりする。	・自分や友達がつくったおもちゃのよいところを見つけられるような声かけを行う。			○
はたらきかけ	5 ○友達と協力して、1年生が楽しめるおもちゃにかいぞうしよう。 ・友達と比べたり、工夫したところを教え合ったりして、試行錯誤しながら、さらに自分たちのおもちゃの機能が高まるように改良する。	・輪ゴムの数を増やしたり、おもりの重さを調節したりするなどの工夫をしている児童には、その気付きを価値づけ、自覚化させる言葉かけを行うとともに、友達に紹介させるようにする。		○	
	6 ○おもちゃフェスティバルのけ	・同じようなおもちゃをつくった			

る	7	<p>いかくを立てよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>みんなで楽しく遊ぶためのルールや遊び方、準備することなどについて話し合う。</li> </ul>	<p>児童どうしをグループにするなどして、みんなで楽しく遊ぶための工夫やルールなどを考えさせる。</p>			○
	8 9	<p>○おもちゃフェスティバルのじゅんぴをしよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>みんなで遊ぶために、おもちゃや会場の準備をしたり、遊び方の紹介パンフレットなどをつくったりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>遊びながら、おもちゃを改良したり、ルールを変更したりして、もっと楽しく遊べるように工夫させる。</li> </ul>			○
	10 11	<p>○おもちゃフェスティバルでたのしくあそぼう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>遊びながら、おもちゃを改良したり、さらに楽しくするためのルールを考えたりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>遊びコーナーを運営する側と、遊ぶ側とに分かれて遊んだり、1年生を招待していっしょに遊んだりするなど、みんなで楽しく遊ぶ方法を考えさせる。</li> </ul>			○
ふり返る	12	<p>○おもちゃフェスティバルのきろくをかこう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>みんなで遊んだり、友達に教えてもらったりしたことを振り返り、記録カードに書く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>つくったおもちゃの工夫したところや、大変だったところなどを想起させ、気づきを自覚させる。</li> <li>うまくいったことやできるようになったことを振り返らせ、自分の成長に気付かせる。</li> </ul>			○

## 7 本時の展開（本時は12時間中の5時間目）

### (1) ねらい

つくったおもちゃを比べたり、工夫したところを教え合ったりして、自分のおもちゃの機能をよりよくすることができる。

### (2) 授業改善の視点

おもちゃの機能に注目して、つくったおもちゃを比較させたり、友達と相談しながら試行錯誤をさせたりすることは、児童がよりよいおもちゃにするための工夫を見つけ、うまくいったという達成感を得て、友達に伝えたいという意欲を高めるために有効であろう。

### (3) 準備

- おもちゃの材料になるもの
- おもちゃづくりに使う道具
- 見本のおもちゃ
- ワークシート
- 教室内マップ

### (4) 展開

学習活動 ・予想される児童の反応	時間	指導形態	指導上の留意点及び支援・評価 ◎努力を要する児童への支援 ◇評価
<p>1 本時のめあてを把握する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>前時の振り返りをし、おもちゃをよりよくしていくことを確認する。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【予想される児童の反応】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>もっと速く走りたいな。</li> <li>たくさんとぶにはどうしたらよいのかな。</li> <li>○○さんみたいに、うまく動くようにしたいな。</li> </ul> </div>	7	グループ・全体	<ul style="list-style-type: none"> <li>前時の活動を想起させ、おもちゃで遊ぶ中で気付いた友達のおもちゃのよさや、自分がつくったおもちゃの改善点等をグループや全体で発表させ、本時のおもちゃづくりに意欲的に取り組めるようにする。</li> <li>おもちゃのよいところが挙げられた児童に、どんなところを工夫したのかを聞き、他の児童が工夫できそうなところを見つけられるようにする。</li> <li>教室内のそれぞれの作業場所が分かるよう、教室内マップを掲示する。</li> </ul> <p>◎改良したい点を明確にして活動できるように、めあての達成のために必要だと思う工夫を焦点化させる。</p>
<p>めあて 友だちときょうりよくして、1年生が楽しめるおもちゃにかいぞうしよう。</p>			
<p>2 おもちゃを改良する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>つくったおもちゃで友達と一</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>友達に相談したり、T2 からアドバイスをもらえるように、「お助けコーナー」を設置す</li> </ul>

<p>緒に遊んだり、競争したりして気付いた工夫をもとに、改良に取り組む。</p> <p><b>【予想される児童の反応】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・〇〇さんは、ゴムをたくさんまいているんだ。</li> <li>・テープでしっかりとめたら、うまくいったよ。</li> <li>・ここにテープを貼ると丈夫になるよ。</li> </ul>	28	個人	<p>る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・改良してうまくいったことや、うまくいかなかったことを随時ワークシートに記入し、試行錯誤に取り組む姿を児童自身が確認できるようにする。</li> <li>・児童が安全に活動できるように、おもちゃをつくる場・試す場・材料置き場に分ける。</li> <li>・おもちゃを試す場では、お互いに友達の作ったおもちゃで遊び、お互いに助言させる。</li> </ul> <p>◎思い通りに改良できない児童には、意欲の意欲が下がらないようにこまめに声をかけ、友達のおもちゃや、見本のおもちゃを参考にしたりするように促す。</p>
<p>3 改良してうまくいったことや、次回やりたいことなどを発表する。</p> <p><b>【予想される児童の反応】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ゴムをより太いものに変えたら、たくさん進むようになったよ。</li> <li>・強い磁石に変えたらたくさん釣れたけど、糸が切れやすくなったから次改良したいな。</li> </ul>	10	個人・ペア・全体	<ul style="list-style-type: none"> <li>・おもちゃがよりよくなるために行った工夫を交流させ、次の試行錯誤に生かせるようにする。</li> </ul> <p>◇自分の動くおもちゃの機能を高めるために、比べたり、試したりして、工夫したところを教え合っている。 (ワークシート・発言)</p> <p><b>【思考力、判断力、表現力等の基礎】</b></p>

## 8 板書計画

<p>めあて 友だちときょうりよくして、1年生が楽しめるおもちゃにかいぞうしよう。</p> <p>ともだちのおもちゃのよかったところ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・〇〇くんのおもちゃがはやくうごいていた。</li> <li>・〇〇さんのおもちゃが高くとんでいた。</li> </ul>	<p style="text-align: center;">教室内マップ</p> <p style="text-align: center;">今回うまくいったこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ゴムの太さをかえたらたくさん進んだ</li> <li>・じしゃくをかえたらいっぱいつれた</li> </ul>
---	---